

Mizuho Daily Market Report

2023/5/22

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	137.83	138.71	+1.03	+4.18
EUR	1.0815	1.0770	▲0.0070	▲0.0146
AUD	0.6636	0.6622	▲0.0038	▲0.0080
SGD	1.3448	1.3479	+0.0058	+0.0163
CNY	7.0280	7.0375	+0.0410	+0.0886
MYR	4.5319	4.5380	+0.0118	+0.0740
THB	34.31	34.34	+0.08	+0.61
IDR	14868	14865	+0	+141
PHP	55.88	55.89	▲0.30	+0.13
INR	82.55	82.59	+0.20	+0.51

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.646%	+8.2 bp	+26.1 bp
日本(10年)	0.382%	+1.2 bp	▲1.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.446%	+11.0 bp	+22.1 bp
オーストラリア(5年)	3.235%	+6.7 bp	+11.9 bp
シンガポール(5年)	2.738%	+2.8 bp	+5.9 bp
中国(5年)	2.556%	+0.2 bp	+3.4 bp
マレーシア(5年)	3.499%	+1.0 bp	+4.5 bp
タイ(5年)	2.171%	▲0.2 bp	+4.0 bp
インドネシア(5年)	6.080%	+0.0 bp	▲3.5 bp
フィリピン(5年)	5.533%	▲0.5 bp	▲12.0 bp
インド(5年)	6.923%	+2.9 bp	▲4.9 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,535.91	+0.3%	+0.7%
N225(日本)	30,573.93	+1.6%	+5.0%
STOXX50(ユーロ圏)	4,367.45	+1.0%	+1.3%
ASX(オーストラリア)	4,221.45	+0.3%	+0.1%
FTSTI(シンガポール)	3,182.55	+0.3%	▲1.5%
SSEC(中国)	3,297.32	+0.4%	▲0.4%
KLSE(マレーシア)	1,428.04	+0.3%	+0.2%
SETI(タイ)	1,526.69	+0.3%	▲2.6%
JKSE(インドネシア)	6,663.114	+0.0%	▲1.4%
PSE(フィリピン)	6,628.64	▲0.1%	▲0.7%
SENSEX(インド)	61,431.74	▲0.2%	▲0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	261.66	▲0.2%	+1.4%
金	1,957.55	▲1.2%	▲2.9%
原油(WTI)	71.86	▲1.3%	+1.4%
銅	8,128.48	▲1.6%	▲0.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	137.20	—	139.00
EUR/USD	1.0700	—	1.0850
AUD/USD	0.6590	—	0.6800
USD/SGD	1.3340	—	1.3530
USD/CNY	6.9900	—	7.0490
USD/MYR	4.5200	—	4.5940
USD/THB	34.00	—	34.67
USD/IDR	14860	—	15000
USD/PHP	55.50	—	56.05
USD/INR	82.45	—	83.04

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は138円台後半でオープン。朝方には日本の4月CPIが発表され、ヘッドラインおよびコア指数ともに市場予想と一致し、前月の上昇から伸びが拡大。直後のドル円は特段の反応はなかったものの、徐々に物価上昇の力強さが意識され、ドル円は138円前半まで下げる場面も。その後は138円半ばまで反発すると、レンジでの推移が続いた。週末を控える中、引けにかけては昨日からの上昇の利食いの動きもあり、下落に転じたことで138円前半で海外時間に渡った。アジア新興国通貨は方向感を欠く展開となっている。堅調な米経済指標で追加利上げの可能性が示唆されたほか、中国の成長を巡る懸念が出る中、インドネシアとマレーシアの金利が下げを主導している。

海外市場のドル円は138円半ばでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表はなく米金利上昇を横目に小幅上昇。その後、パウエルFRB議長が「信用状況が逼迫する中、目標達成のために政策金利をそれほど引き上げる必要はないかもしれない」と発言したことや「イェレン米財務長官がさらに合併可能な可能性がある銀行幹部らへ伝えた」、「米債務上限交渉に障害、共和党担当者退席」等のヘッドラインが続いて伝わるとドル売りが強まり137円半ばまで反落。午後は米金利が持ち直す中で138円台前半まで上昇。終盤は週末を控え、次第に動意乏しくなり、その後137円後半でクローズ。

【金利】

米債利回りは前日比小幅上昇で終了。前日に続き米債務上限問題につき楽観論が広がっていたことから朝方は売り優勢となるも、FRB/パウエル議長から予想通りながら6月の利上げ停止に係る可能性を示唆したことや、債務上限をめぐる協議で共和党側の交渉担当者が突如退席したとの報などから懸念が再浮上したことからリスクオフに転じる中でややチョッピリーなプライスアクションとなった。米国株は売り優勢。総じてプラス圏で始まるも、上記、米債務上限に関する協議難航のヘッドラインは売り材料となった。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。パウエルFRB議長から6月利上げ休止に向けた発言が出ていることもあり、目立った米指標もない中では上値は限定的となりそうだ。一方で、債務上限問題は引き続き燃っており、ヘッドラインには留意が必要な展開が続く。

【本日の予定】

(日本) 3月 コア機械受注
(アジア) 1Q シンガポール GDP(確)
(アジア) 5月 韓国 輸入 20日間 / 輸出 20日間
(アジア) 中国 LPR (1Y, 5Y)
(欧州) 3月 ユーロ圏 建設業生産高
(欧州) 4月 愛 PPI
(欧州) 5月 ユーロ圏 消費者信頼感(速)
(欧州) 5月 英 ライトムーブ住宅価格
(欧州) EU外相理事会(ブリュッセル)
(欧州) 独 国債入札(6M)
(米国) フラッド・セントルイス連銀総裁講演
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁、ハーキン・リッチモンド 連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。